

公演再開に向けての感染対策について

7月23日、24日「どんな時も歌、歌、歌！ 佐渡裕のオペラで会いましょう」

(令和2年7月22日現在 ※随時変更・修正の可能性があります。)

兵庫県立芸術文化センターでは、「兵庫県立芸術文化センターの取り組みとお願い」(6/12※)のとおり、新型コロナウイルス感染防止対策を行っております。それに加え、当公演について、医学的な専門家の監修に基づき、以下の対策を行います。

※http://www1.gocenter-hyogo.jp/news/2020/06/0612_Raikan_information.html 参照

1. 舞台・楽屋・バックヤード（出演者・スタッフ・職員）

【基本対策】

- ・入館経路の統一による入館時のサーモグラフィチェック・手指消毒の徹底
- ・スケジュール（舞台準備作業、リハーサル時間、公演時間）の短縮
- ・公演時間＝約60分
- ・合唱の演奏時間の短縮調整（本番30分以内）
- ・大空間（大ホール舞台、大リハーサル室）でのリハーサル実施
- ・関係者のマスク、フェイスシールド、マウスシールド着用、アルコール手指消毒の励行
- ・体調管理・検温記録・手指消毒・3密回避の励行・要請
- ・打合せ・公演準備における密の回避（リモート会議等の積極活用）

【飛沫・エアロゾル感染対策】

- ・ソリスト＝歌唱時のマウスシールド着用
- ・合唱＝歌唱時のマウスシールド着用、携帯ファン使用
- ・舞合作業員のマスク・手袋・フェイスシールド等の使用励行
- ・舞台上のソーシャルディスタンスの確保（指揮者とオーケストラ＝3m、オーケストラ楽員同士＝1.5m、合唱とオーケストラ間＝3.8m以上、合唱団員同士＝縦3m、横2m）
- ・透明アクリルパーティション（1.8m高）の設置（オーケストラ管楽器演奏者間・合唱とオーケストラ間）
- ・管楽器奏者用の吸水シート設置（結露水処理）
- ・舞台上の上昇気流によるエアロゾル拡散・排気の確認 ←①劇場設計・空調設計の専門家の監修による各ホールでの換気性能の検証実験（スモークテスト）、②音響反射板内蔵換気機能の最大限活用、③音響反射板の後方設置により舞台上空に排気空間拡大
- ・舞台上、エアーカーテン設営によるオーケストラへのソリスト呼気の流入防止
- ・楽屋の配置・同線の分散、楽屋収容定員の縮小

【接触感染対策】

- ・手指消毒の徹底
- ・備品・工具・楽譜・身の回り品等の共用回避
- ・衣裳交換・洗濯・スチーマーアイロンによる殺菌の励行
- ・楽屋ケータリングの縮小・撤去
- ・楽屋エリアにおけるゴミ箱の撤去（一部）

【その他】

- ・キャンテイナー（楽屋食堂）の営業時間短縮・座席配置変更

2. フロント（お客様対応）

【基本対策】

- ・ 入場者に対するマスク着用、検温（サーモグラフィー、非接触型体温計）、アルコール消毒液による手指消毒の要請
- ・ 来場者カード（連絡先未確認者の届け出）要請

【飛沫・エアロゾル感染対策（密の回避）】

- ・ 販売客席数・エリアの制限（着席間隔の確保、前方席・上層階の販売中止）
- ・ 楽屋面会、出待ちのお断り
- ・ スタッフのマスク・フェイスシールド着用
- ・ 大声での声援（ブラボー）の禁止
- ・ 開場時間の延長（大ホール＝通常 45 分前→60 分前）
- ・ 入退場・トイレ・コインロッカーの利用等に伴う整列時のソーシャルディスタンス表示の設置・呼びかけ
- ・ 体調不良者・マスク不着用者の入場お断り
- ・ 館内換気機能の最大限活用

【接触感染対策】

- ・ チケットテイク（もぎり）のセルフ化（目視による券面チェック）
- ・ ご招待窓口の休止（事前発送）
- ・ 配布物（プログラム等）配布のセルフ化
- ・ クローク、喫煙室、アンケート回収、サイン会、楽屋面会、プレゼント預かり、場内物販、ウォータークーラー、ビュッフェ営業、ブランケット・キッズクッション貸出の休止
- ・ 遅参者用の座席確保

【その他】

- ・ 場内アナウンス内容・注意喚起方法の変更
- ・ 公演終了後の清掃・消毒

3. 全般

- ・ 各ホール客席・楽屋・リハーサル室・スタジオの抗菌（光触媒コーティング）加工
- ・ 館内各所へのアルコール消毒液（手指消毒）設置
- ・ 館内ベンチでの着席間隔確保
- ・ センター会員もしくは連絡先が特定できる顧客のみを対象としたチケット販売
- ・ 総合案内所・ショップにおける現金取扱いのトレー対応
- ・ 各ホール・レストラン・スタジオへの県追跡システム（QRコード）設置
- ・ 対策への協力呼びかけの館内掲示・チラシ設置・ウェブ・SNS 掲載
- ・ 公演時間の短縮、休憩時間の撤廃（もしくは延長）による“密”の回避

4. 感染症対策アドバイザー

吉田友昭（藤田医科大学教授、医学博士／感染免疫学／感染制御医）

浮村 聡（大阪医科大学教授、医学博士／感染対策室長）

5. 基本資料

- ・ 兵庫県対処方針
- ・ 公文協ガイドライン
- ・ クラシック音楽公演運営推進協議会（日本クラシック音楽事業協会、日本演奏連盟、日本オーケストラ連盟ほか）ガイドライン
- ・ 全日本合唱連盟ガイドライン
- ・ 当センターガイドライン
- ・ 当楽団ガイドライン

ほか、海外・国内の各種研究・検証実験報告